



# 辻小学校だより

学校教育目標 ○学ぶ子（知） ○やさしい子（徳） ○元気な子（体）

## 学ぶことは楽しい！！

～学びを充実させるためのICTの活用～

校長 近藤 百合

新年度が始まり、早3ヶ月。気が付けば、1学期もあと14日間で終了です。梅雨入りも遅れた中、時折見せる日差しが真夏を感じさせるようになっていきます。子供たちにとっては待ちに待った夏休みも近づいています。

6月13日・14日と5年生は大貫海浜学園で初めての宿泊学習に行ってきました。梅雨入り前だったこともあり、初日はぽつぽつと雨が降った場面もありましたが、全ての行程を無事に終えることができました。子供たちにとっても楽しい1泊2日で、日常の学校生活では味わえない体験ができました。海辺の散策で「海の風が気持ちいい」と子供たちがつぶやいていたことも大貫だからできた体験と感じています。保護者のみなさまには子供たちの準備等で大変お世話になりました。ありがとうございました。

さて、1学期を振り返ってみると、子供たちは毎日、意欲的に学校生活を送っていました。学校生活の中心は「学ぶこと」です。この1学期の間も子供たちは様々な「学び」を行ってきました。

例えば、「タブレットの文房具化」についてです。GIGAスクール構想の下、一人一台端末の整備が進められ、4年が経ちました。今までは「とりあえず、タブレットでできることを考え、使ってみよう」という考え方でタブレット活用を行っていました。しかし子供たちは生まれたときから「デジタル」に囲まれ、タブレットは未来を担う子供たちにとって、必須アイテムであることは当然のことです。学校は子供たちの学びを支える場として、「とりあえず」ではなく「必要だから使う」という考え方に変換していくこととなります。辻小学校でも「授業の中で必要だからタブレットを使っていく」という考えのもとでタブレット活用を行っています。それはノートや教科書と同じような「文房具」としての役割をタブレットが担っていくこととなります。今後、教科書もデジタル化が進み、全ての教科書が紙ではなく、タブレットにクラウド上でアクセスできる形に変化してくることも遠い未来のことではないと思っています。そういったことからタブレット活用は「当たり前」になっていきます。

子供たちはタブレットでの学習が大好きです。今は物珍しさもあるのは事実ですが、紙の教科書のように書き込むことや自分が表現したい方法で表現するという紙よりも手軽にできることもタブレットのよさと子供たち自身が感じています。また、ドリルパークのように配信された問題を解答するとAIが即座に採点し、次の問題に進めることや間違った場合には丁寧に解説してくれるという個別最適な学びを実現してくれるというよさもあります。子供たちはこのことによって「学ぶことが楽しい」と感じる場面が増えていきます。

子供たちの「デジタル」を使いこなすスピードは、大人の想像以上に速く、驚かされることも多いです。だから子供たちには、使いこなすためのルールをしっかりと身に付けさせなければなりません。大人の一方的な禁止事項だけでは子供たちの理解できるルールを作ることはできません。「タブレットは自分たちの学習のために必要な道具」「タブレットは学びを深める道具」「タブレットは自分が賢くなるための道具」ということを子供たち自身に理解させ、大人と一緒にルールを決め正しく活用し、子供たちが「学ぶことは楽しい！！」と感じるようにしていきましょう。

辻小学校のホームページを是非、ご覧ください。

学校の教育活動等随時、更新しております。「辻小学校」で検索いただくか、右のQRコードからも、閲覧することができます。

子供たちの日常的な学習の様子もご覧ください。

学校ホームページ <http://tujisyounoofficial.jp/>

